内外タイムス THE NAIGAI TIMES

10月9日 日曜日 8日発行 昭和30年 西暦1955年

第3242号 （昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認新聞紙第232号）（中華郵政台字第637号執照登記為第2類新聞紙類・内政内鎖証報備内台警字第0136号）

発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5 電話 代表 京橋(56)8646番 直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995 編集局 港区芝金杉川口町13 電話 代表 三田(45)8136番 振替貯金口座 東京170071番

天気予報

今晩 北の風晴れ 明日 北の風晴れたち曇り [illegible]

保守合同演説会開く

両総裁同時に登壇

大阪会場 聴衆五千の盛況

【大阪発】民自両党の保守合同関西演説会は八日午後一時から大阪中之島中央公会堂で鳩山、緒方両総裁をはじめ両党首脳が一堂に会して [illegible] 午後二時四十七分大阪に入りした。[illegible]

（上）鳩山首相 （下）緒方総裁

強力の合同を

緒方総裁演説 〝延命工作〟を排す

[illegible] 鳩山総裁が政策を実行するため保守合同するといっているのは当然すぎるほど当然であって、我々としては我々の意見を急速に実行するため、清新にして強力な保守合同をしなければならない。しかしいうまでもなく今回の保守合同は鳩山内閣の延命工作であってはならず、他数派工作でもない。従って鳩山総裁のいわゆる〝政策実行の手段のための合同〟は鳩山内閣の政策に同調しろということでないことはあらためていうまでもない。

明年早々一致点へ

米代表言明 国際原子力機関

【ニューヨーク七日発＝共同】国連総会政治委員会は七日原子力平和利用問題の討議を開始したが、まず米国のパストア代表（米議会両院合同原子力委員）が起ち国際原子力機関の基本的な骨組みについては明年早々にも関係各国の意見が一致点へ到達することができると思う、とつぎのように述べた。

米国としては国際原子力機関の憲章草案について各国間の見解の相違がほとんどなく交渉によってすべてが解決できると期待している。国際原子力機関の憲章草案は目下米、英、仏、カナダ、オーストラリア、南ア、ポルトガル、ベルギーの八ヵ国で検討中である。

先進五国が優越的地位

国際機関の規約

【ニューヨーク七日発＝共同】国際原子力機関の西欧側規約草案が七日明らかになった。この草案は去る八月日本も含めて国連と同専門機関の全加盟国に機密裏に配布され、十一月一日までに修正意見を回答することとされている。幹事役を勤める米、英、仏、カナダ、オーストラリア、ベルギー、ポルトガル、南ア連邦の西欧八ヵ国はこれをすでに承認済みである。草案の骨子つぎのとおり。

▽参加国 国連に正式加盟している六十ヵ国および国連専門機関に加盟している二十四ヵ国、計八十四ヵ国はすべて加入の資格がある。この中にはもちろん日本も含まれる。

▽規約の発効 国際原子力機関の規約草案は米、ソ、英、仏、カナダの五ヵ国のうちの三ヵ国が含まれる八ヵ国の承認を得たときから発効する。

▽理事会の構成 十六ヵ国が参加して理事会が設置されるがこのうちさきの五ヵ国は〝技術援助と核物質の最重要貢献国〟として毎年自動的に理事国に選ばれる。次に右の五ヵ国より劣るが、オーストラリア、ベルギー、チェコ、ポルトガル、南ア連邦の五ヵ国が〝ウラン、トリウムその他理事会が指定する物質の主要生産国かつ貢献国〟としてまず第一回の理事国にあげられている。十六ヵ国中残りの六ヵ国は受益国で、その顔ぶれは原子力機関の総会で選ばれる。ただし受益国といっても〝受益〟できるだけの技術、工業水準が必要でインドはもちろん日本などもこのなかに選ばれる可能性は十分ある。

少差で危機回避か

仏内閣 今夜信任投票

【パリ七日発＝共同】仏国民議会は七日午後、前日と同じく重苦しい空気のうちにモロッコ問題の討議を続開、八日午前零時直前（日本時間同日午前八時）に終った。引続き第三日の討議は八日午前九時半から開かれ、八日夜から九日午前の間に内閣の運命を決する信任動議が提出される模様である。

各党の態度は急進社会党と人民共和派がまず賛成、共産党は完全自治供与の立場から反対、また農民諸派も反対の立場をとっている。従ってフォール首相としては社会党の協力を求める必要があるわけだ。だが社会党はフォール案を認めているものの実施の見込みは薄いと非難しているので、早急実施を確約しなければ棄権に回る公算も強く、観測筋はピネ外相の動きに注目している。

ピネ外相はこれまでケーニグ前国防相などとともにフォール首相と真ッ向から対立していたが、国連総会から帰ると〝力の政策〟をとるべきでないとして

粋人酔筆

高師直

丸木砂土

音楽劇『お軽と勘平』を再演するので、もう一度『忠臣蔵』を読み直した。

『忠臣蔵』の中で、最初に女を口説くのは、高師直（こうのもろなお）である。鶴ケ岡八幡宮の石段前で、顔世御前という人妻の袂に、恋文を投げ込む。師直は白髪の老人だが、顔世は薄化粧をした美人である。こんな老人が、色気たっぷりで、人妻をくどくのだから、『忠臣蔵』は初めからおもしろく出来ている。私の『お軽と勘平』は顔世が、未亡人になって、ついに師直と再婚をして、倦怠期に入ったところから始まるのである。

師直が顔世に惚れたのは、本当の話からいうと、こうではない。師直は顔世という舞台の名の塩谷高貞（えんやたかさだ）夫人に恋をしたのは、顔なんぞ見たこともないうちに、まだ見ぬ恋にあこがれたのだから、なかなか可愛い男である。そこでどうかして顔世という美人をおがんでみたい。そういう切なるあこがれに、ではおがましてやろうといった世話やきの友人がいる。これが顔世の小間使を買収して、良人の留守を利用して、顔世の姿を覗かしてやろうと段取りを作った。

今日は主人が留守で、顔世（北の方）がその暇にゆっくり風呂に入るという情報が、この小間使のレポで、師直の友人の耳に入った。友人は師直を、その浴室の隣りの部屋に連れ込んだ。そこの板戸の隙間から、湯上りの女姿をのぞかせようというのである。師直の喜びは申すまでもない。

このの覗きの場を絵に描いたのが、月岡芳年の有名な『月百姿』の中の『垣間見る月』である。芳年は明治初年の浮世画家で、鏑木清方の先生のまた先生位にあたるであろう。その絵によると、顔世はすべらかしの黒髪に紅梅色の下着、白い小袖を重ねて、湯上りのほんのりした胸のあたりを、大きく拡げている。絵空事かもしれないが、大きな乳房が、ふっくり目に立つ。のぞかれているとは知らないから、何でも隠そうとしている姿ではない。

これをのぞいた師直は、いきなりぶるぶるっと手足をふるわして、肩で息をついていたが、一緒に覗いていた友人に催促されて、その部屋の外まで出てくると、そこでぼったり縁の上に腰を抜かしてしまった。そのうちに目を釣り上げて、口から泡を吹き出した。

友人はびっくりして、湯殿へ入り込んで、柄杓（ひしゃく）の水を汲んで顔へぶっかけた。師直はやっとそれで気がついたので、宥めすかして外へ連れ出した。その後の師直はあらぬことを口走り、狂気のようになったそうである。

まだ見ぬ恋人のハダカ姿を、いきなり目の前に見たんだから、この位のことはありそうだが、『忠臣蔵』のくどきの場は、よほど手加減がしてあるばかりでなく、師直はいかにも敵役になっている。私の考えた『師直』はもっと愛すべき女ずきの好人物である。

師直は顔世に恋文を届けているが、これはみんな『つれづれ草』の作者兼好法師が代作している。『仇波ならぬ渕のさわぎに、少しははれさせ給えかし』などと甘い文句を書いている。兼好法師は『女房というものは持つもんでない』とがん張っているような粋人である。恋歌の代作も盛んにやっているから、師直は大事なパトロンの一人であったろう。

私の愛すべき『師直』は、軽演劇のベテラン有島一郎君扮するところである。きっとうまいに違いない。

本紙愛読者1500名様を抽選で

箱根路一泊の旅に御招待

交通費・宿泊料金（三食付）一切無料

一回（50名様）二十五組、団体アベックの遊覧バス行楽

【新進落語家同乗、車内ガイドと宴会出演】

旅行券一枚でお二人様が参加できるお愉しみ

10月15日から抽選券を毎日刷込み＝抽選発表・10月26日から本紙上に掲載

本紙は愛読者各位の絶大なるご支援とご好評をいただき、驚異的躍進をいたしております。このご愛顧に酬いるため本社では莫大な予算を投じ、駒ケ岳ホテル協賛のもとに愛読者一千五百名様を国立公園箱根路へ遊覧バスで観光の一泊旅行にお招き致します。奮って本紙刷込みの抽選券をご利用下さい。当選旅行券一枚でご近親、ご友人どなたでも（1名様）ご同伴旅行が出来ます。

快適な芦の湖畔のドライヴ・ウェイ

＝新進落語家メンバー＝

三遊亭歌橘 金原亭馬太郎 柳家小ゑん 柳家小山三 柳家小三太 柳家小きん 三遊亭歌風 桂 右喜松 林家照蔵 三遊亭歌太郎 林家正蝶 林家三平 三遊亭歌奴 （落語協会）

★右メンバーから毎回2氏が参加します。

ご招待旅行の内容

○名様）25組の団体アベック遊覧バスが来春六月までに30回（一回一五〇名、全旅程と宿泊（三食）を無料。

ご招待旅行の旅程

東京駅八重洲口から箱根登山バスに乗車、江の島（小田原を経て箱根駒ケ岳ホテル着、入浴後小宴（落語、のど自慢）一泊、翌日箱根町見物、芦の湖を遊覧し箱根路を探勝しつつ東京帰着（この間新進落語家がユーモアのあるガイドで旅情に楽しい趣をそえます）

抽選方法

10月15日発行（16日付）から住所氏名記入欄のある抽選券を刷込みます。△抽選券の送り先、中央区銀座三の五内外タイムス社（特別旅行係）と朱書開封郵送のこと（一人何枚も可）△毎月三回厳正抽選の上、旅行指定日の10日前に本紙上で発表します。

幸運の旅行券交付

当選者には紙上発表と同時に本社発行の『幸運の旅行券』を郵送交付いたします。

後援・箱根登山鉄道株式会社

主催・内外タイムス社

政界春秋

ソ連の人質外交

細川隆元

敵方の御曹司やお姫様をあらかじめ人質にしておいて、いざ戦争となった時、これを談判の道具に使うやり方は戦国時代の物語によくあることだし、歌舞伎芝居などにも残っている話である。このような人質戦法は封建時代の過去の古めかしいやり方とばかり思っていたら、アトム時代の近代戦においてもこの戦法が採用されているのだから、世の中は進歩しているようでその本質はちっとも変っていない。全くおかしなものである。この間西ドイツのアデナウアー首相がエライ勢いでモスクワに乗込んで行ったが、ソ連に人質にされているドイツ人捕虜が永久に止めおかれる危険を救うために、泣きながらソ連のいい分に屈伏して手を握ってしまった。日ソ交渉もこれと同じに今ソ連の人質外交に突き当ってニッチもサッチも行かないところに差しかかっている。

きょう出た米誌『ライフ』を見ると、マッカーサー元帥の伝記の中に『ソ連はソ連軍隊を占領軍の中に送り込んで北海道を占領することを提議して来たがマ元帥はこれを拒否した』とあの時の経緯が書かれている。今思うと危機一髪、全く慄然たる感じがする。なんであんなに沢山の人間を満州、樺太からソ連に連れて行くのだろうとあの当時は不審に思っていたところ、今になってやっとその裏意が判った。人質だったのだ。そうしてドイツ首相はとうとうソ連抑留同胞家族の涙に抗しきれず、これまた涙と共に一切の主張を犠牲にしてソ連に屈し去った。南千島はれっきとした日本領土、平安朝時代からの日本のものと判っていながらソ連にがすめ取られた。この南千島を放棄してソ連抑留邦人家族の涙に答えるか、家族の涙を乗り越えて南千島返還を突張るか、いま日本政府は涙と意地の二筋道に差しかかっている。こんな外交問題は一政府の問題でもなく、一政党の問題でもない。これこそ文字通り全国民的な問題なのだ。こういった問題は決して政争の具に供されることは許されないし、いまの日ソ交渉ほど情と理と両面の政治問題はない。それだけに政府部内でも政党の間でも一切党利党略を離れて十分考え、論議し、検討し、そうして結論を出すべきだ。急いではいけない。拙速より巧遅を選ぶべきだ。どちらの結論が出るとしても、政党同士、国民の間に十分納得がいくようなやり方でやってもらいたい。

民主党内にも、自由党内にも社会党内にも前に述べたような二つの意見が交錯している。これが実情である。だから問題は超党派の性質を帯びているというのだ。もしこんな問題を十分議論し尽くさずに安易な解決を急ぎ、政府の手柄にして選挙に利用しようと考えてみたり、または反対にこれを政府攻撃の具にしようと力んでみたり、階級政党的イデオロギーで取扱ってみたりしたら、それこそ国民の怒りはただでは納まらぬだろう。平和共存を唱えるものが、戦勝国の威をかさに着て、人質外交の上にあぐらをかいているのだから、世界はまだまだ油断のならぬ姿を露呈していると見ねばなるまい。これが平和の裏にかくされた現実というものだ。

ア大統領ダレス長官と会談

【デンヴァー七日発UP＝共同】デンヴァーの臨時ホワイトハウス七日の発表によれば、アイゼンハワー米大統領は十一日病院にダレス国務長官を招き外交問題について会談する。この会談では二十七日からジュネーヴで開かれる四国外相会議についての打合せがおもな議題となろう。ア大統領が外交問題について討議するのは九月二十四日同大統領が病に倒れて以来これが初めてである。一方病院では七日大統領の回復状態はいぜん好調で、大統領は六日夜もぐっすり睡眠したと発表している。

フォール首相を援護し、保守派の説得に努めている。

このほか一部議員は内閣を倒した場合北アの情勢は極度に悪化し鎮圧のため大軍を投入すれば北大西洋条約機構の存在を危くし、またザール住民投票にも不利だとの大局的見地からフォール打倒をためらっているといわれ情勢は複雑をきわめている。しかし一般的にいえば当地の観測筋はフォール内閣が少差で危機を切抜けるのではないかと見通しているが、さりとて手離しの楽観も禁物といった微妙な状態である。

次期首班拒否

ピネ仏外相

【パリ七日発UP＝共同】パリの消息筋が七日語ったところによればピネ仏外相は同日国民議会の各派議員に対し、もし彼らがフォール首相を失脚させた場合には同外相は次期内閣の首班指名を断固拒否する旨警告したといわれる。ピネ外相は現在フォール内閣が倒れた場合の有力な次期首班候補者の一人に挙げられている。

松本全権に説明を要求

両社委員長

和田、浅沼左右両書記長は八日午前十一時すぎ首相官邸に根本官房長官を訪ね、日ソ交渉について松本全権が鈴木、河上両社委員長に説明するよう申入れた。これに対し根本長官は次のように答えた。

自由党がすっきりしていないため緒方総裁との会見も打合せできないような状態であるが、十一日には首相も帰京するので十分相談して期待にそいたい。

日伊交渉難航

【ローマ七日発AP＝共同】イタリアのモメント・セラ紙は七日、日伊通商交渉は現在難航に陥っているとつぎのように報道した。通商協定の更新を目的とする日伊通商交渉は八月二十九日以来イタリア外務省で行われているが、この交渉は現在難航に陥っている。

おことわり 『お道楽拝見』『地獄耳』本日休載します。

内外抄

きょう大阪での合同演説会、合同をあおるためなのが水をさす結果になりそうとは笑止千万。

◇

社会党政権の樹立までうたった統一社会党の運動方針案、楽しい夢も入れた見事な作文。

◇

四大臣の海外旅行がきまる。まだ出ない大臣はほかにありませんか、あれば急ぎ申入れて下さい。

◇

『日本は漁夫に変装させ両鮮に共産革命を図っている』梁駐米韓国大使談。笑いごとではない。

◇

人身売買にからんだ前借は無効だとの最高裁の判決は大出来。借金は別だとは屁理屈。

市況

積極買一服

ダウ平均の四百円台接近からさすがに積極買は一服の振合となったが目立った利食売はみられない反面、遅ればせの物色買が部分的に根強く続いているので、休日控えの市況は伸悩みのうちにも概して堅調を持続している。特定株は味の素がマバラ買に強調をたどったのにつれて全般も確りにあったが幾分ボケて結局味の素五円高以外はいずれも前日値付近に保合った。雑株は一両日買われたものは大部分騰勢一服となり二、三小反落するものもみられるが製薬、電力株や出遅れ気味の低位機械株などに緩慢ながら買気が続いて五円内外小高いもの多く場面は依然強含みであった。

▽高い株＝東北電、九州電十四円、東洋工、日本電装、服部時計、北陸電、四国電、北海電、三共、第一薬、旭硝子、多木肥料、味の素五円

▽安い株＝日鉄鉱四円

東京株式仲値 新株落△配当落（8日終値）

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		信越化	88	倉レ	115	小西六	108
東海上	260	東亜圧	145	旭化成	382	カーボン	36
郵船	63	昭電工	101	山陽パ	134	三井物	136
新三菱	78	日本曹	96	日本パ	115	第一物	131
日清紡	270	朝電化	85	国策パ	131	白木屋	251
味の素	288	三菱造	92	東北パ	114	高島屋	89
三越	297	三井造	126	大東紡	100	日活	73
三菱地	507	三菱重	66	商船	50	松竹	208
平和不	212	石川重	96	三井船	53	東宝	1330
		精工	146	飯野海	61	大映	269
三井金	114	東洋ベ	124	西武	378	日本粉	134
三菱金	118	日立造	60	京阪神	223	日清粉	128
日鉱	113	浦賀	64	東京ガ	78	日本ビ	174
住友金	124	日平	18	東電	592	朝日ビ	185
三菱鉱	58	古河電	71	日銀	—	キリン	205
古河鉱	90	日立製	77	東銀	56	宝酒造	124
同和鉱	141	東芝	68	三井銀	74	台糖	261
住友炭	69	三菱電	77	富士銀	88	明糖	134
三井山	72	小松	59	日証金	85	甜菜糖	130
北海炭	73	日本光	146	安田火	108	野田醤	194
東邦亜	65	キヤノン	160	大正海	96	森永	184
帝石	77	東京光	35	住友海	86	明菓	180
日石	108	東洋紡	165	千代田	74	日水産	92
昭和石	131	鐘紡	140	勧買	80	昭和産	110
東燃	130	富士紡	127	日製鋼	70	東洋醸	87
三菱石	136	大日紡	91	八幡鉄	59	合同酒	146
大協石	132	日東紡	63	富士鉄	53	三楽	127
日東化	92	片倉	37	神戸鋼	57	大阪糖	177
日産化	77	東邦レ	122	日特鋼	115	王子紙	244
三菱化	107	帝麻	44	日軽金	187	十条紙	270
三井化	132	中織	50	日金工	76	本州紙	51
協和醗	129	帝人	155	日セメ	162	三菱紙	92
東合成	135	東洋レ	198	磐城セ	265	北越紙	68
三共薬	178	三菱レ	146	小野田	87	三井不	813
				横浜ゴ	148	三井倉	95
				旭硝子	176	渋沢倉	83
				富士写	150	東洋埠	200

青春無宿 (151)

大林清 作 下高原健二 画

深渕に立つ（十二）

ホテルの玄関を出ると、ソロジェムがここの専用駐車場から自動車を引出して来た。彼等がいつも使っている車であるところを見れば、日月教本部ではどこか眼につかない場所に、それを駐車させてあったとも考えられた。

ヴァルマンがまず乗りこみ、ハロヌークは次郎に先をゆずった。四人とも終始無言だった。

車は人の出盛っている商店街を駅の方へ逆行して行ったが、駅前で日月教本部のある山手とはちがう方角の右へ折れた。この道を行けば、伊豆山方面へ向かうことを次郎は知っていた。

『ストップ！ こっちじゃない』

次郎は急にスピードを出しはじめたソロジェムへさけんだ。

『いや、こっちから行かないと車のはいる道路がないのですよ』

ヴァルマンが、どこを風が吹くというように口をはさんだ。

『とめたまえ、ひっかえすのだ』

ヴァルマンが何か企んでいるのを直感して、次郎がソロジェムの肩へ手をのばそうとした瞬間、

『しずかにしろ！』

左側にかけていたハロヌークの底太い声といっしょに、固いものが次郎の脇腹へ押しつけられた。先をいそいで油断したのがいけなかった。それが拳銃の銃口であることは、全身で感じられた。

『動くと撃つぞ、前を見たままでいろ』

ハロヌークはつづけて威嚇した。

ヴァルマンは相変らず悠然とかまえていた。ポケットから銀製のシガーケースをとり出すと、吸いさしの葉巻に火をつけた。その高い香りが鼻先へにほってくるのだが、次郎は身じろぎも出来ない。いくら次郎の腕力がすぐれていても、脇腹に銃口を突きつけられていては施すすべがなかった。

運転台の速度計へ眼をやると、六十キロから七十キロの間で針が揺れている。右側に夜の海が現れ、やがて伊豆山温泉の旅館の密集した地域を通り抜けて、あたりの灯影はまばらになった。

この街道は吉浜、真鶴を経て小田原へ通じている。途中は海際から屹立する断崖をなしている場所が多く、自動車のほかには人の通行する者などほとんどない。

次郎は考えた。ヴァルマンたちがもくろんでいるのは、自分を熱海以外の土地へつれて行くことではなくて、適当な場所で地上から抹殺することではあるまいか。もし彼等が今度 [illegible] 日本から高飛びするとしたら、[illegible] の一人や二人 [illegible] 何でもないはなくても、[illegible] ことだった。

『煙草をのんでも [illegible]』

次郎は平生 [illegible]

『待て、その手を』

ヴァルマンが鋭くさけんだ。

『ポケットには何もはいっていない』

次郎が左手を [illegible] と、

『動くな！』

ハロヌークがけび、銃口 [illegible] 端に次郎が [illegible] 口の向は変 [illegible]

おたがいにながいきしましょう
進歩競う老人医学
百才への案内状

戦後日本人の寿命が13年伸びた・ついでにこれを30年に伸ばそう!

お前百までわしゃ九十九まで……が唄の文句だけでない時代になりつつある。寿命百才は夢ではない。英国の一級ウィスキー、オールドパアのレッテルになっているトーマス・パアは、百二才で人妻を強姦し現行犯でぶちこまれたほど旺盛で、出獄してから再婚百三十才まで農業に従事し、百五十三才の時英帝室に招かれ、ご馳走になりすぎて死んだが、名誉あるウェストミンスター寺院に埋葬された。彼の場合、〔ご馳走にならなけ〕れば二百才までは生きたであろうといわれる。長生きは罪業のすべてを帳消しにして、金鵄勲章ほどの価値を認められたのである。バア老のような途方もない老人は別として、百才以上も青春を楽しめたら、こんな愉快なことはあるまい。人間、やりたいことをやり続け、思う存分の仕事をして、苦しまずに天寿を全うできれば、これ以上の幸福はない。戦後のわが国は十年間に平均十三才近くも寿命が延びている。それだけ人生の楽しみをつかむ権利を与えられているわけだが、権利だけでなく、いかにして権利の内容を充実し得るかのために今や老人医学が流行となり、長寿会ブームとまでいわれている。この焦点に浮ぶ幾つかのグループを覗いて、百才への案内状としよう。

九十才、百才の寿命はあっても、老いぼれのヨイヨイでは、どうしようもない。バア老のように、百才で強姦するのもあまり感心したことではないが、老いて益々旺んでなければ、満足な仕事はできない。バア老をたびたび引合いに出して恐縮だが、百五十三才で死亡したとき、斯界の権威が解剖した結果、全身壮健で、普通六、七十才では肋軟骨が化骨してくるのが、化骨の形跡がなく、肢が柔軟で、四十才代の肉体であったという。バア夫人は私は主人が百四十才までは年寄りとは思えなかった。夜なども、百四十才過ぎてから、時々途中でやめるようなことがあった、と述懐している。これはまことに老人たちの羨望の的である。百才壮年大いに仕事をしようじゃないか、そして、あれこれ盛んになろう、というのが各種長寿会のテーマであるが、その方法は千差万別?である。専ら運動をもって長寿法としている会、ホルモン第一と主唱している会、食餌療法こそ秘訣だとしている会など、そのうちの代表的なものをここに取まとめて紹介することにする。入会とその選択は読者のご随意である。

ニュース籠

"老いらくの恋"はこれからですぞ……『六十路友の会』のテスト風景

入会条件、百メートル22秒
"気を若く"がモットー

六十路友の会

若さを肉体的にも精神的にも持続することが、最大の長寿法である。それには全身運動だ。なわ跳び、かけ足、水泳をすることだ。そして、そのような若さにあふれる人が集って切磋し合う、それが私たちの会だ。と、会長中原実氏(日本歯科医大学長)が語る。

この会は、一昨年春"六十才の会"で発足し、去る四月改名されたものである。

この会には、なかなか難かしい試験がある。もともと、老いぼれて家で薬を飲みながら、一年でも二年でも永生きしようなんてケチな人間では入会資格がない。会員になる前に、鍛錬して健康体であらねばならないわけである。その試験項目は

一、百メートルを二十二秒以内で走ることができる、または三千メートル以上の駈け足。

二、二十五メートルを三十五秒以内で泳ぐこと、または三千メートル以上の遠泳。

三、逆立を三十秒以上できること。

四、ケン垂五回以上。

五、なわ跳びを百回以上。

六、米俵を抱え上げることのできるもの。

の六項目である。もっとも、このうちどれか一つできれば認められるのだが、この試験にパスすることは、百才への太鼓判をおされたようなものだろう。

七十五才の武貫一氏を筆頭に三十余名の会員は、朝早くから起き出し、散歩代りに外を駈けるような健脚人の集りである。老衰は圧倒されない精神力と全身運動、これがこの会の長寿の秘訣ということである。もっとも安直だが、もっとも困難な方法である。だがこの夏は伊豆韮山に会員が集合し、一夜、芸者をあげて気勢をあげ、翌朝は狩野川の石簀橋から水宝閣まで、走路二千メートルを走破して一同意気軒昂たるものがあったという。そのうちに、老いらくの恋に花を咲かせる会員も出てくるにちがいない。(連絡先―千代田区富士見町、日本歯科医大、中原実)

"ホルモン第一"主義
会員五千人、性能を促進!

財団法人・長寿会

いつまでも男盛り女盛りを保ちたい人のために、この会が出来たという。三笠宮を名誉会員に、正力松太郎会長、糸川欽也博士が理事長といった顔触れで、専門家が研究に当り、長寿医学という特別の分野の開拓に当っているが全国で五千名近い会員を擁して、銀座には診療所をもち、会員には長寿療法として頒布している薬がある。(正会員は千円以上、特別会員一万円以上の入会金)薬はホルモン剤で、"ラップル"と称している。ラップルには男性ラップル、女性ラップルがあり、夢よもう一度のご利益をもっているそうだ。

大体、動物の生殖器ほど生存のため巧妙に出来ているものはない。林学の本田静六博士は植物についても『木の生殖器である花は木が枯れるまで咲く』という事実から人間は死ぬまで性生活を営むべきであるとの説を唱えたが、人間も生殖器さえ健全なら、長寿疑いないとの原理から、糸川博士などはホルモン剤を長寿法の第一にもってきたのである。男性も女性も、四十代の更年期に総合ホルモン剤で諸機能の新陳代謝を促進させると、女性などは『もう年だわ』と嘆いていた皮膚の弛緩や脂肪過多、四肢の冷寒、倦怠などもスッキリと治してしまい、男性など疲労感を覚えず、実現強壮若返り百才壮年の夢に近いという。その他"乳酸菌錠"をも頒布している。これは腸内の異常醗酵が老化現象を促進するので、これを予防除去し、栄養の吸収をよくして長寿を全うしようとするのである。この会は投薬を主にしている他に、人間ドックを奨励している。(診療所―中央区銀座西七、弥生ビル内)

糸川欽也博士

まず血圧を下げる
沃度注射と食餌療法

長寿法研究会

この会は長寿を全うするには血管硬化症を予防することだとしている。脳いっ血は四十才を過ぎて働き盛りに出るので、個人的にも社会的にもまことに不幸である。高血圧を除くことは、百才への近道だ、と提唱して二つの療法を行っている。

一つは、食餌療法である。食塩と蛋白質の制限が肝要で、血圧が二百を越す場合は、食塩一日一グラム以下、蛋白質体重一キロにつき一グラムに制限することで、そのためビタミン不足を来すので総合ビタミンを補い、血圧を下げるのである。もう一つは内科療法として沃度を用いる。これは沃度〇・六グラムの水溶液を注射するわけだが、この結果遠視が治ったり、もち論頭髪も黒々として好結果を生み、高血圧に悩む人は沃度注射で五年や十年の長生きは保証できると、会長の金子重寵氏は、自信満々としてすすめている。(事務所―江東区亀戸町七の一二二)

長寿食品のいろいろ

ソ連式の長寿風呂
たまご納豆のおすすめ

スターリン長寿法

ソ連の医聖といわれたパヴロフの高弟ボゴモレッツ博士は、長寿薬を発見しスターリン賞を与えられた。これが老人医学の誕生を意味するとまでいわれたコンドロイチン硫酸であったが、更にソ連のレペシンスカヤ博士によって、老人特有の黒シミを除き、若返りの実績を挙げている浴剤を発見した。この浴剤の原料は日本でも生産しているので、飯田橋病院の宮入清四郎院長などの関係している"保健食養協会(会長、日下顕尚)"では、更年期障害、性欲減退、性腺の活力回復のために、レペシンスカヤ博士の発明した浴剤を入れた長寿風呂を奨励している。同会は長寿風呂ばかりでなく、長生食として"たまご納豆"や純粋小麦胚芽をもとにしたビタミン剤"リプロン"などを併用し、また、老衰予防体操(岡田道一博士創案)を普及して、百才壮年を呼称している。(協会―世田谷区赤堤町一の三五)

毎日一時間の横臥
それで三年寿命が延びる

寿命学研究会

人間は絶えず死に直結している。判りきったことだけに何とかして無駄死はしたくないと願望している。戦後多少寿命が延びたのも、結核による死亡率の減少が大きく左したわけで、現在の死亡率トップは脳溢血となったが、これは老人医学の分野である。百才壮年のためにはガン、動脈硬化、心臓などの問題を解決しなければならないわけである。寿命学研究会は、寿命学という新しい総合的学問体系の樹立と応用のため、東大名誉教授塩田広重博士を会長に、厚生省統計調査部渡辺定博士を理事長として昨年七月発足したもので、会員約百名(会費月三百円)で、真剣に長寿のための研究を続けている。長寿といえば金持だけの長寿と考えられ勝ちだが、人類全体が長生きする方向に保健数学、保健医学、健康に関する学問を総動員して、目的に向かおうというのであり、現代長寿法の三原則をうちたてているが、それは次の三項である

第一に体質に応じた栄養

第二に精神上、肉体上の刺激と休養

第三に朗らかに安定した精神

この上に立って、動脈硬化には、脂肪の代謝にビタミンを取り、宴会などにおける蛋白質の過食、甘いもののムラ食いを慎み、規則正しい食生活をすすめている。

高血圧には、日中一時間の横臥を奨励する。この一時間の横臥だけで三年寿命が延びることは疑いないそうだ。この研究会では、性ホルモンの素人濫用には警告を発しているが、最近発見された"唾液腺ホルモン"が間葉異常に良く利く点から、老衰予防に期待がかけられるとして、研究されている。また、血圧が低く痩せた人には適度な運動をすることなどの他に、一般的には悲しみ、怒りといった不良刺激が老衰原因なので、年を忘れ朗らかに生きることを力説している。(研究会―世田谷区代田町一の三六九)

塩田広重博士

青春は甦る?(ソ連式長寿風呂)

岡田医博の老衰予防体操を見ている高田元中将(左端)とその隣り宮入博士

いでゆ綺譚 ⑩
袋田、鰐ヶ淵
ヤキ餅を焼くクモ
水底へ引き込まれんとした女

茨城県唯一の袋田温泉には鰐ヶ淵の深淵がある。久慈川の水が青くよどんで、深さ数十丈。緑の木々がまわりを包んで、何をしたって人目につかない仙境である。

『いやン。くすぐったいてば…』

彼と並んで岩頭に腰かけていた彼女は、首をすくめて背中をくねらせた。

『駄目よ、今っから…』

肩と肩を抱き合って、足をブランブランさせながら、時間のたつのを楽しんでいるような時、日本のキモノは具合がいい。脇の下から手を入れると、どこまでもスルスルと這いこんでゆけるのは、世界にほこるキモノの特色である。

『あれッ、そんなところまで…』

クックッと息を詰めて、若アユのようにもがいて見せるが、実はそんなに気持の悪い顔ではない。

『ムズムズして気持が悪いわよ』

身体をなゝめに引きながら

『しつこいのねッ』

彼のほっぺたをチクッとつねった。

『?』

こんどは彼がびっくりした。脇の下から入れた手を背中へ回したには違いないが、それより下の方へ撫で下ろした覚えはなかった。

『何を怒ってんだ?』

『何をじゃないわよ』

プンとして彼女は立ち上った。とたんに、黒いモジャモジャしたものが、彼女の足元に落ちて動いた。

『わッ、クモだ!』

『いつの間に、はいってやがったんだ』

クモはスーッと糸を引いて、はるかの水面まで下りてゆくと、そのまま水の底へ消えて行った。

『変なクモね。水の中に住んでるのかしら』

『下から見ると、すっかり見えるもんだから、夢中になって仰向いているうちにたまらなくなってはい上って来たんだろう』

『アラ、これを見なさいよ』

気がつくと、細いクモの糸が彼女の足のところから、ずーっと河底まで伸びている。さっきからモゾモゾやっているうちにそこんところへ糸をつけて、そのまま水底へ下りて行ったのだろう。

『これは、あやしいぞ』

彼はクモの糸を彼女の足からはずして、傍の大木の根元へ結んだ。

無気味な時間がしばらく過ぎた。突如天地の崩れるような音がして、糸が強く引かれると見るや、さしもの大木が、根こそぎにさらわれて、一気に水底へ引きこまれた。彼と彼女は思わず抱き合って幸運を喜こんだ。

それ以来、鰐ヶ淵へはアベックで行ってはいけないといわれる。もし行っても、クモが一匹でもいたら、直ぐ逃げて帰れといわれる。ただし現代のお嬢さんは洋服だから、淵のヌシも下からのぞかないかも知れないが――(Q)

風流世界譚
(イギリス)

ピカデリー保険会社の会計をやっているプラットは、同僚とカード(トランプ)で徹夜したり、また細君のマーガレット以外の女性と外泊したりするたびに、あやしげな証明書をつくって、マーガレットの手前をつくろっていました。

『ゆうべはウォルシュ君のアパートで遅くなってね。つい引留められて泊ってしまったよ』と、その翌日細君にいい訳をする時は、必ずポケットから一枚の便箋を取出してマーガレットに示すのです。『ホラ、プラットさまを当宅へお引留めいたしました。悪しからず。ウォルシュ夫人より、マーガレットさまへ、と書いてあるだろう』こんな具合で、プラットはしばしばピカデリー名物の街の娼君と一夜を共にすることもありました。もち論、ウォルシュ夫人の署名は、その娼君の書いたものです。さて、こうしたある日、またしても前夜出ずプラットに、マーガレットは何気ない風にたずねました。

『あなた、ウォルシュさんは奥さんを離婚なさったの?』『いいや、前の通り細君はビリイバーグだよ。どうしてだい?』途端にマーガレットのマユがつり上りました。『まァ、よくもあたしを騙したわね。このウォルシュ夫人の署名をごらんなさい。この前のサインとまるで違うじゃないの』

モダン歳々記
新吉原誕生

明暦二年十月九日、四代将軍家綱は江戸町奉行石谷将監を以って吉原遊廓の移転を命じた。すなわち「只今迄の場所は御用地と成りしを以て屋敷替えを命ず、替地は浅草後日本堤、或は本所辺の両所の内に決すべし」というのだ。

元和三年、小田原の浪人庄司甚右衛門は、江戸の散娼を一ヵ所にあつめ、今の人形町付近の葭の原を刈取って吉原を開いたが、葭原が吉原となったように次第に江戸の市街も賑やかになり、町の真中に遊女屋のあるのも体裁がよくあるまいということになったのだ。

そこで廓側が相談して、本所よりは観音様の浅草日本堤の方がよかろうということになった。移転に当りこの新吉原は吉原が二丁四方だったのを、五割増の三丁に三丁となり、従来は昼間営業だったのが昼夜となり、移転料一万五百両を支給され、さらに江戸各所に風呂屋の名であった私娼を一掃することなど、頗る有利な条件がついていて、翌三年三月に移転と決った。ところが、その年の一月十八日に振袖火事が出て元吉原を焼き払い、引越しは頗る簡単にできたのであった。(鮭)

東海毒婦伝
青とかげ (92)
野沢純　土端一美画

安政小唄(七)

あと足で、砂を蹴立てんばっかりな剣幕で、尾張屋材木店をとび出した鳶辰だ。おりうを促して、道を歩きながらも、まだむかっ腹を立てゝいた。

『呆れ返ったケダモノよ。たとえ腹違いとはいえ、あれが喜兵衛旦那の弟の嬶ァか――と思やァ、腹が立って口もきけねえ!』

口もきけねえ――といっていながら、あれだけのたんかをきるところを見ると、この上もし、腹を据えて口をきいたら、どれくらいかと思うばかりである。

とにかく、あまり無口な方ではないらしい。

江戸ッ子は、サツキの鯉の吹き流し――啖呵をきっても、腹の中には何にもないといわれているが、最前の一ト場ばかりは鳶辰も、さすがに腹へ据えかねたとみえる。

もっとも鳶辰は江戸ッ子ではない。神田ッ児でも芝ッ子でもない。生粋の深川生れの、深川ッ子だ。八幡宮の氏子の一人だ。

若い頃は、祭りの度ごと喧嘩をした。

『喧嘩をしなけりゃァ、神輿をかついだ気がしねえ!』

というシロモノだ。神輿をかついで永代から、川へ練り込み、

『おウ! このまま江戸湾まで繰り出そうじゃァねえか!』

と気勢をあげて、さすがの祭り総代や、頭取たちを呆れさせたという兄いなのだ。

喧嘩が、まるで年中行事。

先年佐竹様の上屋敷が炎上した時も、消し口の事から、ガエンの鳶(大名火消)と衝突して、

『べら棒めえ! ガエンが何だ! 消し口を取りゃァ町火消しのもんだ!』

とばかり、大屋根の上で、真ッ向からの取っ組み合いとなり、火事よりもこっちの方が騒ぎとなった――というほどの、ハデな来歴の持主ときている。

何年たっても、血気ばかりは昔のまま。あれで清七の女房に、怒ったまぎれのビンタをくれなかったのが、めっけもの。不思議といいたいくらいのものである。

――今日も今日とて、喜兵衛旦那の病気見舞に、清元の師匠の処へ顔を出したところ、医者が来ていて小首を傾げ、延千賀師匠を陰へ呼んで、そっと含めていうことに、

『遠い親戚へは、今のうちに飛脚を立てゝ、知らせておきなさるがいゝ』

との言葉。

おりうはその時何にも知らず、すでに本郷の叔父の許へ向っていたのだ。その出かけたあとへ、

『手前、お迎えに行って参りましょう』

と立ちかける、手代の豊吉を抑えて、

『あっしが行こう。お前さんは、あとに残っていてくんな。もしものことがあっちゃァいけねえ』

と走り迎えを買って出た鳶辰だった。

目ざす本郷へ、行きついてみれば、姪のおりうを前にして、ケンもホロロなあの始末。かっとして、喜兵衛旦那の容体のことなど、云うのも忘れていきなり、あの啖呵とはなったのだ。

『むてえに癪にさわるアマだ。お嬢さん――あんな者を、叔母だなんぞと思っちゃァいけやせんぜ! 叔母でもねえ、身内でもねえ、強突張りの極道夜叉だ!』

お茶の水から船に乗ってからも、まだイキリ立ってるありさまである。

暮れ方近く、[illegible]吉町の路地へ戻ると、豊吉が出たり入ったり、御近所衆の出入りの姿も何となく、常とは変って、そわそわしい。

おりうは思わず、ハッ! とした。そこへ豊吉が、慌てたように駈けつけた。

あすの運勢
十月九日　高島象山

▲一月生―何事も悩まず懸らず努力すれば無事他動的の事は災い有

▲二月生―素志を一貫して保守的に努力すれば栄達あり社交は不利

▲三月生―内外不安で向う処に手違い起り易く不安漂う不利の日也

▲四月生―稼業大事と保守的に努力して平穏なり気迷う者は失敗有

▲五月生―物事に節度を守り専心努力して栄達あり世話事は不利也

▲六月生―物事不振で手持無沙汰に陥り遊惰に流れ酒色に失し失敗

▲七月生―自己を忘却し他動的の事に神経を使い自ら迷惑を求める

▲八月生―物事を鋭意断行し後敏に活動すれば成果大にある日なり

▲九月生―頑固で傲慢なる政策は失望を求める他動的の事は不利也

▲十月生―彼れ是れと不満を起し自己を窮地に陥らしむ慎重に進め

▲十一月生―快然として活動し上位先輩に従順すれば栄進するなり

▲十二月生―他人の犠牲に陥り不覚を取り意外の災禍を蒙りやすい

異常？古屋の性格解剖

迫る埼玉バラバラ事件公判の焦点

"添い遂げずにはおかぬ……"と ひたむきな片想い

茶化したり楽しんだり 量刑など問題外

古屋 栄雄

昨年九月五日、愛人と間違えて縁もゆかりもない葛西久子さん（当時十九才）を惨殺したいわゆる"川越のバラバラ事件"被告古屋栄雄（二）の第六回公判は、いよいよ半年ぶりで今月下旬開かれることになった。特に今度の公判には若山弁護人の申請で、都立松沢病院長林暲、東邦大学精神科部長新井尚賢両博士の精神鑑定書が提出されるが、両博士とも『古屋の精神状態には異常は認められない』という結論に到達した模様で、浦和地検が死刑を求刑するのはもはや決定的と見られている。しかし、あれほど残虐な殺人を犯した古屋が、正常な人間だったとはとても考えられず、しかも彼を知る若山弁護人すらが、『あんな変った男は見たことがない』と語っており今後の法廷では、検察側と弁護人側が殺人犯古屋をめぐって特異な人間解剖の論争が行われるものとみられ、これがキーポイントとなるようだ。公判を前に、犯罪心理学上珍しいケースといわれている古屋の性格を、拘置所内での数々の奇抜な話題から探りを入れてみよう。（山）

○…『俺は文江が好きで好きでたまらないから、裏切られた口惜しさでついバラバラにしてやりたくなった』彼はこういっている。だがその結果は見ず知らずの葛西久子さんを誤ってバラバラにしてしまった。あれから一年いまなお彼は房内で切々とあわびの片想いを

文江さんの面影を慕いつづけている。当の文江さんは、古屋が出所したら、今度こそ自分が殺される番と、恐怖のあまり消息を絶っている。古屋は若山弁護人が彼の房を訪ねるたびに『文江はどうしているだろうか。俺が出所したら、どんなことがあっても文江と結婚する』『亭主がいたって、仲が悪くなることもある。そういうときは、子供がいても俺が引き受ける』と、文江さんに対する飽くなき幻影が、以前赤線あたりでさんざん遊び歩いた彼の肉体の上にも強い刺激を与えるらしく、所内の係官に『ほかの点の不満は何もないが、さいきん性的な衝動に駆られることが特に多くて……』と悩みを訴えている。

○…この激しい文江さんへの愛着ぶりは、当然第一回の公判以来法廷でも問題になった。つまり愛人と信じ込んで殺してしまったのと、行きかがりの娘と知ってバラバラにした場合とでは、情状の上で大きな開きがあるからで、若山弁護人は、この点を"目的物の錯誤"といい、『被害者の久子さんをただの行きずりと知って殺したのなら、強殺で量刑も無期もしくは死刑だが、文江さんと思って殺したのなら、単なる殺人罪に過ぎず、いままでの判例では六年から十年がザラだ』と弁護の焦点を明らかにしている。ただ問題なのは死体をバラバラにしたことで、太田検事は『あの残虐性は、情状の余地なしで死刑が当然だ』と強く主張しているが、刑そのものとしては、死体損壊は、三年以下の懲役なので、この意味では、今度の両博士の鑑定書が大きく物をいうことになるわけだ。

○…だが古屋自身は、この量刑についてはまるで関心を持っていない。若山氏が『死刑の求刑があるかもしれない』と切り出しても『あれほどのことをやったのだから、求刑されても仕方がない』とすました顔で、その答の裏には絶対に自分が死刑になるはずはないという自信がひそんでいるようにも見える。それでも被害者の久子さんには、さすが罪の苛責を感じるのか、もとペンキ職人の腕を生かしてさいきん熱中している絵（主に油絵ばかり）は、みな写真と記憶をもとにした文江さん、久子さんの空想画ばかり、久子さんのはめい福を祈るという但し書きをつけ、もう百枚近くになっているそうだ。

○…このほかの点では、所内の古屋の生活は異常なまでの楽天ぶりを見せ、誰一人面会者がなくても、寂しいとも思わないらしく、松沢病院で鑑定を受けた直後の感想も『丁寧に扱ってくれてとても愉快だった』といって、同房のものを呆れさせたほど。中でもとりわけ彼の異常さがうかがわれるのは、毎月一通はかかさず送ってくる若山弁護士宛の封書や葉書である。封筒の宛名は、いつでも弁護士、法学士、経理士若山梧郎先生でその横にきっと電話（浦和）三七六五番と氏の事務所の電話番号まで書き添えてあり、差し出し人は、バラバラ事件の古屋より（古いという字に矢羽が突き刺してある）というふざけぶりで、葉書の方も来るたびに漫画入り、お花見の季節の分は、宛名が桜の図案という徹底さに、さすがの若山氏も精神状態を疑ったということだった。

東邦大学精神科部長新井尚賢博士談 鑑定の結果を公表するまでは、はっきりしたことはいえないが、古屋が精神異常者でないという見通しはついている。

若山弁護人へ出したまんが入り葉書

北海道に暴風雨襲う

連絡船欠航、列車も立往生

【札幌発】北海道地方は七日午後から全道的に暴風雨に襲われ八日朝になっても依然つづいている。札幌管区気象台は七日夜胆振地方に暴風雨警報を発令そのほかの三域に風雨強風注意報を発令中で八日朝はとくに室蘭地方が陸上二十―二十五メートルの強風と豪雨に見舞われ、函館など道南地方は函館本線各列車が強風のため各駅で立往生、連絡船は七日夜から欠航したが八日午前十時二十分下り五便摩周丸がやっと出航した。八日午前九時現在の降雨量は函館六十三ミリ、帯広四十七、室蘭三十七、札幌三十三、倶知安三十二、旭二十一となっている。道警本部集計の午前九時現在被害次のとおり、家屋半壊、床上浸水一二四、床下浸水五七三、田畑冠水二九、道路損壊六、被災世帯数一六九、被災者概数七三七

青森では死者11名

【青森発】七日夕刻から八日朝にかけて青森県下に豪雨が襲い下北郡地方では一一〇ミリの降雨に見舞われたが、このため陸海ともに甚大な被害を生じ青森県警察本部午前十時現在の調べによると死者十一名、行方不明一名、床上浸水は二千四百戸となり大湊―大畑を結ぶ国鉄大畑線は不通となった。

最大風速10米 東京地方に強風注意報

中央気象台は八日午前八時五十分東京地方に次の強風注意報を出した。大陸の高気圧が張り出してきたので八日東京地方では北寄りの風が強くなり陸上の最大風速は十メートル内外、海上の最大風速は十五メートル内外に達する見込み。

変貌したXライン ①

取り戻した健康色

番衆町・あの惨劇の家

年をとれば皺がふえ老ぼれてくる、あたりまえのことである。と同じように年一年と世の中も変転し、きのうの東京はきょうの東京ではあり得ない。一年半ほど前に本欄で『潜行Xライン』と題して妖しげな温泉マークや未亡人クラブなど青線的場所を探ってみたが、今では当局の取締り、時代の動きなどによりその趣をガラリかえている。そこで変貌したXラインにフット・ライトをあててみた。

『旦那、面白いところへ案内しましょう。ズブの素人がいますよ……』くら闇で客引きに声をかけられた。二年前、秋漸く深まったいまごろである。場所は新宿三光町付近――。どんなところか？好奇心と、百聞は一見にしかずとかいう身勝手な理屈をつけて、ポンちゃんの後をついていった。案内されたのは同区番衆町三六であった『いやだったらお帰りになっても結構ですよ……』客引きは念を押していった。チリリン、裏木戸の鈴が鳴り広い庭を通りぬけると物置でも改造したかと思われる四畳位のちっぽけな部屋。薄暗い電灯に桃色のカーテンが煽情的に眼に映じた。『お茶でものみませんか…』三十四五の和服の女がそういってこびた笑を浮べたことを覚えている。親切ではあったが、なんか薄気味悪るいのでそそくさと帰った。……それから一年半、ポンピキの顔も全く忘れた五月一日、『番衆町で夜の女殺害さる』の事件が警視庁から入った。番地をみると三六、確かあのチリリンと鈴の鳴った家である。被害者は吉田ふじ子さん（三七）で死体解剖の結果午前二時―三時にかけて惨劇が演じられたとある（この事件は未解決）…星移り、ラジオ体操のメロディが心よく流れている晩秋近いある朝、この場所を尋ねてみた。いま流行のボディビルで※

※もやっているかと思われる筋肉たくましい青年がラジオに合わせて一、二、三、四と元気に体操していた。事件後間もなくここへ間借りした屋台オデン★

★屋の若いSさん夫妻である部屋も今では綺麗に改造され、庭のコスモスが黄色い花弁を秋の陽にかがやかし鶏小屋ではコツコツと鶏が餌をつついていた『刑事さんがその後二、三回みえましたが別に変ったことはありません。あの事件以来この辺一帯の青線はみんなやり玉にあげられ風紀も大分よくなったようです……』いい終るとまた元気に体操を始めると愛犬のメリーまでが尾をふって真似ている。ここには妖艶さや暗いかげはなく裏木戸のチリリンと合図するような鈴の音もきえて、澄んだ秋空に健康的な明るい空気が漲ぎっていた。【写真はメリーと戯れるSさん夫妻】

広告サギ一千万円

浅草商店街を軒並み

蔵前署は八日浅草の商店街で広告詐欺を働き一千万円をまきあげていた男を送検した。静岡県島田市向谷一の八六一中外報知新聞社森重三郎（三）で調べによると昨年二月ごろ浅草の有名商店の写真をとりアルバムを作って商店街を持ち歩き『今度"のびる浅草"という宣伝観光写真帳を発行することとなった。お宅の写真も入っている』と持ちかけ広告料として一軒から五千円―四万円をまき上げ約三百軒から一千万円を騙し取っていたもの。

五反田で売春カフェー挙る

大崎署は八日朝までに品川区五反田一の二七七カフェー『春日』経営者青木ひろ（三）を売春取締法違反の疑いで、同町三の一八カフェー『花長』経営者田中よし子（三六）を同法、児童福祉法違反容疑で検挙した。調べでは田中はさる七月三十一日大分県別府市亀川寺町の少女（一七）を『働き次第ではいくらでも優遇する喫茶店がある』と騙し、一万二千円を前渡しして同店に住み込ませたほか、さる七月末以来、田中の故郷大分県から生活に困っている女たち五人を同様方法で騙し、五千円から一万円の前借金で同店に連れてきては売春を強要していた。

また青木は昨年九月ごろ売春取締法違反で十五日間の営業停止処分を受けたが、その後も女給の豊田礼子さん（二〇）＝仮名＝ら二名に付近の旅館に出張させ強制的に売春をさせていたもの。

運ちゃんに護身の極意

目白署で柔道のモサが講習会

○…いまや自動車強盗流行時代もし自動車強盗に襲われたらこの手で防ごうと目白署では八日午前十一時から管内の運転手約五十名を集めて強盗予防護身術講習会を開いた。

○…署側から柔道のモサが『後から首をしめられた場合、こんな方法で首をねじって…』と護身術あの手この手を公開、手ほどきをうける運転手の中にはさきに本モノの強盗に襲われた者もまじっており『今度こそは捕えてみせる』とシンケンな手つきで護身の極意を会得していた。【写真は目白署での自動車強盗予防講習会】

全裸にして監禁暴行

持ち逃げされた腹いせ 中国人二名を脅す

小宮 矢部

中央区銀座一の六洋品雑貨商うさぎ屋社長小宮光明（三九）＝大田区馬込東一の一〇〇二＝と、千葉県船橋市東町五の一五七一同店外交員矢部善三郎（四二）の両名で、調べによると小宮の出資している中央区江戸橋三の五貿易商キングストア＝社長中国人林葆郷（三七）＝方でさる四月十八日店員の中国人頼啖が輸入の乾ブドウ代金千百五十万円を拐帯逃走したのでたまたま頼が行方をくらました日に同店をやめた豊島区長崎五の二二中国人施炳鏞さん（三二）と、世田谷区代田三の一〇一一同曽木火さん（三）の二人も一味と思いこみさる七月二十五日正午ごろ施さんと曽さんを捕えて中央区銀座西八の八日葉ビル四階の小宮の事務所に監禁、二人の手を鉄鎖で縛り、全裸にした上皮バンドで殴る蹴るの暴行を加え『頼の行方を教えろ』と脅迫したまた同月二十九日まで四日間コッペパンを与えただけで鉄鎖をつけたまま監禁していた施さんらが頼の行方を知らないと判るや小宮らは『捜査の資金もいることだから金を出せ』と新宿区柏木二の二七二にある施さんの自宅の権利書を奪い、同家を三十七万円で売り飛ばしその内三十万円を懸賞金として全国の新聞に頼の捜索広告を出していたもの。

『警察署の捜査ではなまぬるい』とアメリカから輸入した乾ブドウの代金千百五十万円を拐帯逃走した店員につき、関係のない同僚の家を売り飛ばした金で三十万円の懸賞金をかけ、四日間も両手を鉄鎖で縛りつけ、革バンドで殴るけるの暴行を加え不法監禁していた社長と外交員が八日日本橋署に捕った。

都内の九施設返還

米極東軍当局は八日東京都内にある米軍使用中の九施設を来春までに政府に返還すると発表した。この九施設はオールド海上、八重洲ホテル、有楽ホテル、ファイナンスビル（元大蔵省）三菱本館、三菱二十一号館、フォレストリイビル（元農林省）三菱中十五号館、およびプレスクラブ別館である。なおこの返還によって日本各地で米軍使用中の建物は六百十四（終戦直後当時は三千八百四十八）となる。（AP＝共同）

大阪ギャング初公判

【大阪発】さる八月二十九日大阪市東区北浜東海銀行大阪支店を襲い警官ら三名を殺傷した拳銃ギャング、朝鮮生れ無職権善五（三五）＝神戸市須磨区大田町＝の第一回公判は八日午前十時大阪地裁第三号法廷で辻裁判長係で開かれ、人定質問に入った。権は平然と落着きはらった態度で起訴状の朗読に聞き入り、同十時二十分裁判長が閉廷を宣すると同時に軽く頭を下げ再び看守に厳重に守られながら大阪拘置所に連行された。次回は十一月八日。

▽六大学野球リーグ戦、早法一回戦（八日、神宮）
早大 000000000
法大 000000001
△バッテリー（早）木村―酒井（法）根岸―古川

ふし穴 六人の情婦

◇…六日から警視庁で防犯週間を行っているが、淀橋署に捕ったドロ的が説教強盗の妻木松吉よろしく"防犯のしおり"を録音して防犯運動に協力することになった。このドロ君は足立区千住中町一一九無職岡田豊（二〇）というチンピラ。父親が豆腐製造器具販売業をやっているところから、その手伝いをしていたが、たまたま近所にいる十八才の娘と知合って同棲。父親に意見されると手を取り合って家出したまではよかったが、さて生活費と妻の出産費用に困り、とどのつまりは売込みで勝手を知った豆腐屋さんの売上げのよい店をねらって、さる五月二十七日夜十一時半新宿区柏木二の二六二山田豆腐店山田つねさん（三〇）方表戸の硝子の桟をはずして侵入、釣り銭とタンスの抽出しから現金一万一千円を盗み出したほか百件約百五十万円の盗みを働いていた。その金で岡田は新宿旭町のドヤに洋服ダンス、茶箪笥、電気洗濯機などを買いそろえて"新婚気分"に浸っていた。ところで、妻は子どもを生んだが処置に困り巣鴨で捨児をしたところをえい児遺棄で巣鴨署に検挙されているが、岡田が忍び込んだ時に変装用の衣類をもって歩いていたところから窃盗共犯として追及している。それにしても典型的アプレのチンピラに戸締りの用心を聞かねばならぬほど世の中のネジがゆるんでしまったとは情ない。

◇…大衆から零細な金を集めた十億円ナリをちょろまかした千代田本社の元社長前科三犯高松栄次郎は警視庁刑事部長名で全国に指名手配されているが、これが名にしおうペテン師。いままでは捕るころだと感付くと、たちまち仮病を使って入院して追及を逃れ形勢をみて証拠隠滅するのが常套手段、その女関係はかつて本紙で"情炎の千代田本社"として報道したが全く乱脈の限りで他人の女房に手を出すのは平気。酒はのまずタバコはバットだけで金はヤスリをかけて使うほどだが、ほれた女には惜しみなく注ぎ込むので六人の情婦は彼の悪口はいわない。そこで彼の逃亡先は情婦のところではないかとみて女関係を洗っている。

◇…本紙運動欄で沢田二郎と対談した安念山、かつて本紙に『ウナ丼は軽く三人前』と書かれたのにテレてか、この二十才の関取は座談会で鳥鍋を一人前だけ。驚いたのは座談会を開いた安念山いきつけの鳥料理屋で『安念ちゃんはいつも五人前食うのに…』と首をかしげていた。全く可愛いいじゃありませんか。だが相撲取は大いに食って大いに白星を稼げばいい。来場所は大いに食べて"安念ちゃん"ガンバレ！（赤）

308 エムさん 石川進介

独眼灯

○…少年をオトリに甘い汁をすっていた二人組のチャッカリ窃盗犯が八日朝浅草署から送検された。

○…墨田区寺島町七の一〇一無職平彦典（三）住所不定無職古瀬幸一（三）の両名で、探偵小説からヒントを思いたち、住所不定、無職少年A（一五）を菓子で手なづけた上窃盗を指図、自分たちは陰に隠れて完全犯罪？を計画、昨年十月台東区浅草花川戸一の二履物商根津善政さん（五）方から五万余円を盗んだほか、検挙されるまでに百十件五百万円をA少年一人に盗ませていた。

○…稼いだ金は二人で山分け、ダンサーを連れて温泉町で豪遊しA少年には『甘いお菓子でも買いな』とちょっぴりしか渡さなかったという悪玉ぶりだった。

あすのスポーツ ▽プロ野球 東映対大映（二時、駒沢）▽六大学野球 立対明、法対早（十一時半、神宮）▽サッカー 全ビルマ対全日本（三時、後楽園）▽女子野球 三共対抜口、わかもと対京浜（零時半、追浜）▽相撲 東日本高校選手権、都中学選手権（九時、明治神宮）▽競馬 中山、川崎

【中山六日目】

障害特別の穴はブルレット

あす行われる障害特別は五回中山の呼びもの中山大障害の前哨戦としても注意される。

▽障害特別（第六―二千八百五十メートル）二日目の勝馬ハナチヨダは引続き好調だが、今度は距離も長くなるのでミツオリオンズに強みを認むべきではないか。ハンデに恵まれたモナコオーの逃げ脚もうるさいが、穴としてはブルレットに油断出来ないものがある。まだ障害馬として完成されているとはいえぬが、調教の飛びはよいので、あるいはここでスピードを生かして活躍しないとも限らない。ミツオリオン、ハナチヨダ、モナコオーの順、穴ブルレット。

▽中距離特別（第十一―二千メートル）B特の成績からはホウネンの勝ちっぷりからはコス有望とも見られるが、……のB特の敗因は必死に逃げたアサゴー、トウセイを追いすぎたためとも見られ、ここでは同馬こそ中心と見るべきではないか。東京の優勝で二着した際の所要タイム千八百メートル一分五十一秒三もなかなかよい。その他では東京のクイーンステークス二着のロングラン、B特二着のベルにも軽視出来ないセルフジ、コンチエンス、ホウネンの順、穴ロングラン。

▽一般レース予想 ❶クレーモード、ファストミラ❷ハリマオー、サチオー、サチカンロの順、穴ヒハヤ❸マイウエイ、トツカン、トサモンドの順❹コマツバメ、アケヒメ、イチイチフジの順、穴ヤマノマツ❺ケゴン、ホマレオー、セルテードの順、穴ダイイチヒガシヤマ❼スノーランド、パノープ、タカヨシの順、穴ハクウン❽ビヤクリユウ、マツチドリ、シネマの順、穴フラワーヒット、❾サチクモ、クリシフラツグ、ミナトサクラの順、穴タジマオー⓫クリトモエ、ミナトベルアン、カトウタジマの順、穴ブツシユオーキツド。（松本弥一）

中山競馬五日目成績◇第一ア（千）❶ベンケイ（古山）2分2秒―❷ヤマモリ❸フジニシキ（単）130円（複）100円100円（連）❷―❻220円
第二（千）❶ヤングシップ1分4秒2❷ヴイナクル一馬身¼ハナ差❸クダンホマレ（単）140円（複）110円310円（連）❻―❷1000円
◇第三ア（二千五十）❶ミスチカコ目時2分21秒2❷レイキング½馬身差❸シンリヒト（単）200円（複）110円120円（連）❶―❺290円

続 情炎の千代田城 (262)

岩崎栄 作　寺本忠雄 画

火焔血煙（一）

[illegible]

定は蔵元らしいハンテン姿だし、女房は伝法な黒襟のかかったたし、千代太郎も縞の袷に角帯がた。お静も、これはさすがしいけれど、イキな年増の町いった着つけである。

して更に、これへ、八百定がでの兄弟分、町火消五番の頭ノ親分夫婦と、山窩小僧の岩を加えた顔ぶれなのだ。

石の方では、木人と八百定だけのつもりだったのを、木更にエノ親分以下を追加させたが、さすがに白石は学者だ人間の生態に階級観念を持うなことはなく、

がろう。皆いろいろと働いてる味方だからな』

軽に同意したのであった。

[illegible]

を案内してくる手筈なんだろう』

『そうなんだよ。ほんとに、なにをグズグズしているんだろうねえ岩テコのやつ』

『あんちくしょうだ、店じめえをしてから、またどっかで遊びほおけてやがるんじゃねえか』

このとき、縁側の外で声がした。

『来てるんでさァ、おや方ァ』

『誰だッ』

『へえ、あんちくしょうは、もう [illegible]

[illegible]

れてめえりやした』

代太郎が戻って来て、白石とている木人の方に笑いかけ押し開いた次の間の襖の外エノ親分と女房のおかよと、し離れて岩テコ小僧とが両手をついている。

『おお、おそかりし。ずっとこれへ来い』

と大声を発したのは、主人でなく木人先生だった。

八百定が、恐縮するエノ親分を引きずり込んだ。お辰が、

『なんだか、お尻の方がクスグッタイよ』

と尻ごみするおかよを抱き上げて来た。

今週の顔　堀川弘通（東宝監督）

第一作にヒット
『あすなろ物語』で男をあげる

昭和十五年に東大文学部美術史学科を卒業すると同時に東宝演出部に入ったのだから、こんど『あすなろ物語』で一本の監督になったとしても決して出世の早い男とはいえない。というのも彼は病身で助監督時代に四年六ヵ月というもの前後三回にわたって休職していたからでもある。ところが彼はこんどの作品一本で堀川株を十年分ぐらい一ぺんに上げてしまった。去る五日の封切りにも渋谷、新宿、上野といずれも他社作品をひきはなしてトップにたつという好調さで、病気で寝ていたマイナスなどはまるで問題にならないばかりか、いまやおツリがきて『あすなろ』どころかまさに檜そのものの苗のように、前途洋々たる存在になってしまった。

『彼がここまでやれたのはまず第一に黒沢明監督の良い脚本と一流スタッフ、それに時間と条件をあたえた会社の方針、これが混然一体となって彼のねばりに協力したからでしょうね。まったく彼は大いに恵まれた条件で製作できたというわけですよ』と製作者の田中友幸プロデューサーはいう。まったくその通りなのである。製作日数実働八十九日、使用フィルム三万六千呎なんて数字は新人のデビュー作品としては従来なら到底考えられたものではない。これを編集で切りつめてお客さんが見るということになれば九千七百呎ぐらいになっている。実に二万六千三百呎というフィルムが屑になっているわけである。

勿論 この屑フィルム製造(?)は黒沢先生がやってくれた。ラッシュ（部分試写）を見てリテーク（撮り直し）をやらせたのも先生なのである。だからこの作品は堀川監督一人の作品とはいえないかもしれない。それだけに彼としても作品の出来を先生が何といってくれるかが一番気になったそうだ。『僕は堀川とずっと一緒に仕事をしてきたが、どれが本当の堀川だか判らない。ただいえるのは新人らしく直ぐ木の仕事だったということと、変に器用さのないことは嬉しい。新人はすべからく青いリンゴのようにガリガリ歯ごたえのある方がいいから』と黒沢監督もいっている。録音を担当した下永尚技師は『そうですね。彼は確かに次代の黒沢になる要素を多分に持ってますよ。スタッフも全部一流だったのですが、それぞれが嫌な顔一つしないでリテークに応じましたからね。つまり彼にはそれだけのネバリと師匠譲りのヒラメキがあるのですよ』という。

この 檜、いささか酒をたしなみすぎるのが身体にさわらないかというのが、いまや会社の頭痛の種となっているそうだ。立派な檜に育ってほしいという親心からでもあろうか。

岸井明と三木のり平 突然出演を断わる
あわてる東宝歌舞伎お軽と勘平

三木のり平　岸井明

東京宝塚劇場の十一月公演は、既報の通り秦豊吉、小崎政房作・演出の東宝歌舞伎『お軽と勘平』三部二十二場の一本建興行を敢然と強行することに決定、エノケン、越路吹雪、岸井明、トニー谷、三木のり平らの顔ぶれを発表していたが、このうち師直役の岸井明と力弥役の三木のり平が出演を中止することになり関係者を狼狽させている。

もっとも岸井の方は既に二週間ほど前に出演しないむね話がついていたが、理由としては彼が専属契約を結んでいる東映の正月映画が十一月半ば過ぎには撮影がはじまることになっているところから、もし東宝劇場に出ていると正月映画に出ることができなくなるおそれがあるためである。『舞台もとてもやりたいんだが、正月映画に出ないとボクのようなワキ専門はいろいろな意味でとても損をするんだヨ。別に損得づくでどうという気持ちはないんだけど、残念ながら見送ることにしたヨ』というのが岸井明の弁。帝劇ミュージカルスとして初演の時も彼は師直役であったが、こんどは有島一郎を起用して師直を演らせることになった。

越路 吹雪　有島 一郎　久慈あさみ　山田 周平

また三木のり平の場合は最初から力弥の役をふられていたが、秦氏の話では他にも彼を活用する話があったにもかかわらず力弥役のみになった点、待遇の面で喜劇人協会なみ、つまり出演料の折合いがつかなかった点等々の原因が重なり、ついに話が決裂して下りることになったもの。エノケンはじめ喜劇人協会の北村氏などが心配して手をつくしているが、いまのところ三木のり平は千葉信男その他と大阪北野劇場への出演を決めており、東宝公演に再び戻る公算はほとんどないものとみられている。

なおその他の配役はいまのところエノケンの勘平、越路のお軽、山田周平の力弥は初演通り、新たにトニー谷の定九郎、有島一郎の師直、如月寛多の伴内、久慈あさみの顔世御前、旭輝子の戸無瀬のほか田島辰夫、音羽美子、柳沢真一中田康子らの出演が予定されている。

映画やぶにらみ
肉体の怒り　仏コロナ・フィルム
主人公は"色情狂" 奇抜だが描き方が平板

▽…山間のダム工事の現場。クレーンは轟き砕岩機はうなり、ハッパはたえずあたりにこだまする。荒くれ男どもの別天地である。こんなふん囲気の中に働いている飯場の炊事女がフランソワーズ・アルヌール。彼女は男とみれば誰かれのみさかいもなく平然と身をゆだねるような淫蕩な毎日を送っている。汗くさい男の体臭、アルヌールのコケティッシュな魅力。何か起りそうでこの出だしはなかなか面白い。演出ラルフ・アビブ。

▽…やがて彼女は大変仕事熱心な新任の現場監督レエモン・ペルグランと恋に陥り、パリでささやかな家庭を持つ。愛情にみちあふれた毎日で彼女の淫蕩な性格もすっかり落着いたかにみえる。ところがふとした事から再び彼女の肉体はうずき出す。夫の出張中ちまたに立って夜の女のような生活もはじめだす。彼女は先天的に"色情狂"だったのだ。

▽…こんなふうに主人公に"色情狂"の女をすえたあたり思いつきも奇抜だが、彼女の潜在的な本能のもだえをメロドラマ風のタッチで処理しているだけなのでさっぱり迫力がわいて来ない。折角の素材が完全に腰くだけに終ってしまった感じだ。スリラーめいた心理劇に仕立てたらきっとコクのあるものになったに違いない。（静）

【写真はその一場面、ペルグラン（中央）とアルヌール（手前）】

宝生会月並能　九日一時、水道橋能楽堂。『放下僧』シテ野村諭『井筒』シテ近藤乾三、狂言『棒縛』三宅藤九郎『鵜飼』シテ三川泉。

チャチャチャ流行
ワタクシの方が先輩ですのンにムチャクチャでゴザリマスルワ。
――アチャコ

スターのいる町　目黒界隈（その一）
"愛の巣"を新築中　淡路恵子
動物園まがいの賑やかな田崎潤の屋敷

目 黒のサンマは知らなくても、この街にスターがいることは先刻ご承知の土地柄である。玉電大橋駅の手前、目黒区役所第一出張所の前から目黒川に沿って左に切れる、つまり上目黒八丁目から七丁目にまたがる一角だ。昨今流行の玩具のピストルで西部劇ゴッコをやっている子供が五、六人飛び出してくる。『アア、津島恵子の家か、目黒橋を渡って右に入る道だよ。大きな門があるからすぐ判るよ。門の上のデンキの笠が割れてね、木がいっぱいあるよ』といかにも刷れた口調で教えてくれる。きっと夏休みにはこの連中がモソモソ津島家の庭に入りこんでセミ取りでもやったことなのだろう。それほどに立派で豪勢な敷地と建物なのである。お父さんとお母さん、それにお姉さん夫婦にちいさい姪が一人という家族だから、三百坪の家はいつもヒッソリと静まりかえっている。彫り抜きの表札も石門にシッカリはめこんであるから、スターの表札専門にコレクションしているマニアでもこれへ捨てていくことで、大工さんばかりはどうにもならないのだろう。この三年ばかりは安泰だそうだ。

津島恵子

こ の反対に賑やかなのが津島の家のすぐ下に建築中の淡路恵子の新居で、恋愛中のビンボー・ディナウと共に時々自動車をふっ飛ばしてきては、グルグルと家の回りを回ってサッと帰って行くそうだ。この時困るのは彼女がかんだチューインガムをポイとそのへんの地下足袋へくっついてペッタラ、ペッタラ、まるで彼女とビンボーのようだというのが、近所の評判である。この設計図をのぞいてみると応接間として二十坪余りがとってある。おそらくこの広間で彼女と彼女が踊ったり、歌ったり、飲んだりすることとなんだろう。まったくおやかましい話ではある。

淡路恵子　ビンボー・ディナウ

さ てこの通りを六丁目に向って坂を上って行くと土堤の横腹にガレージを掘り抜いた家があって石の階段が右にカーブしている。表札には田崎となっているが、玄関に入るといきなり犬が二匹飛び出してくるし、九官鳥が『コンチワ、アノネ』などというから間違って動物園に入ったのではないかと思うほどだ。これが田崎潤の家。動物を飼うのは彼の趣味なので、犬、九官鳥のほかに鷹がいるし、近いうちに猿も飼おうというからよほど彼は動物が好きなのだろう。戦国時代のものと称するヨロイのある応接間には、嵯峨三智子から頂だいに及んだ可愛い犬がコロコロとはね回っている。この犬はワンワンとほえて、客人をびっくりさせるなんてことは絶対にないのだそうな。郵便配達のオジサンなどもこういっている。『田崎さんの家はいいですよ。第一犬がやたらにほえませんやね。それに田崎さんだってちっとも役者らしくないしね。僕らが郵便を持って行くと、ニコニコ笑ってゴクロウサンなんてね。時々芝生で犬と転げ回って遊んでまさあ。面白い人ですよ』とひどく評判が良い。この話をきいたら彼のことだ、きっと『寿司食いねえ、江戸ッ子だってねえ』なんていいだすことだろう。何しろ彼は昭和の石松みたいな男だから…。

田崎 潤

【次回は来週土曜日、目黒界隈その二】

ラジオとテレビ

8日（土）

	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 子供のシンフォン◇音楽劇偉大なマホン 千葉信男他 40 スポーツだより	05 英語会話 松本亨 30 箏曲 山登愛子 早川良一◇蘭八節 宮薗千有	10 東西こぼれ話 高野アナ 15 コンサート 南十字星 25 ぴよぴよ大学 河井坊茶	00 劇『少年宮本武蔵』 10 おばあちゃんとーしよに 45 スポーツ・ニュース他	00 音楽『夜も昼も』他 15 劇『覆面騎士』真木恭介 30 音楽 キャラバン他
7	00 ニュース◇天気予報 30 二十の扉 山本嘉士子 伊東絹子 日比野恵子 近藤美恵子 高橋敬緯子	00 映画音楽マツクス・スタイナー特集 解説清水光雄 30 座談会『これからの結婚』丸岡秀子他	10 録音ニュース 20 ホームソング 奈良光枝 30 どうしまショウ 司会小野田勇	00 録音ニュース 10 シャンソン集 トレネ他 30 アベツク歌合戦 トニー谷 石井亀次郎 豊文他	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ歌野村重夫 30 ❶漫才 A助・B助❷落語『浮世風呂』橘家円蔵
8	00 なつかしのメロディ◇昭和篇 美ち奴 楠トシエ他 30 とんち教室ー松本市にて石黒 玉川 長崎他	05 コステラネッツ演奏会ー日比谷公会堂にてーチヤイコフスキー作曲『眠りの森の美女』他 N響	00 落語❶くしやみ講釈 正蔵❷そこつ長屋 小さん 30 浪曲・次郎長伝『荒神山』第八回 広沢虎造	00 素人ジヤズのど自慢 水の江滝子 テイーヴ釜范他 30 ヒツトパレード『モンマルトルの丘』他	00 家族ゲーム 千葉信男 河井坊茶他 30 いづみショウ 『帰らざる河』他 歌雪村いづみ
9	00 ニュース解説 熊谷幸博 15 放送劇『おけらの歌』小沢栄 東野英治郎他 40 時の動き	00 ダンスアルバム（解説）酒井和雄 45 スポーツショウ『南海・巨人の優勝』小西徳郎	10 歌謡曲 中島孝 岡晴夫 島倉千代子 伊藤久男他 40 劇『雷電』佐野浅夫 清水辰三郎 滝口順平他	00 松竹新喜劇『泣き笑い芝居横丁』渋谷天外他 30 劇『この世の花』真木恭介 丹阿弥谷津子他	00 劇『太郎行くところ』司葉子 大川太郎他 30 古今東西恋物語『紺屋高尾』筑紫まり 清水金一
10	15 今週のニュース特集 40 幸福を拾つた話 市村俊幸 宮城まり子 上村孝他	00 高校講座❶解析Ⅰ 佐藤忠❷上級英語 梶木隆一 45 気象通報	05 きようのニュースから 15 『学生気質』末川博他 30 座談会プロ野球総まくり	00 大学受験秋季実力養成講座 英文法 野原三郎 30 国語（古文）富倉徳次郎	00 歌謡曲 津村謙 吉岡妙子特集『あなたと共に』他 35 スポーツ・カレンダー
11	00 きようのニュース 20 ながいき 田辺尚雄作	00 家庭と学校◇小さな新聞記者 甲府市立西中学校他	10 音楽の星座『アルルの女』第一管弦楽団 近衛秀麿	00 DXニュース 福士実 20 ガーシユイン名曲集	00 唄ごよみ 唄二三吉他 15 週間ニュース解説

テレビ

★NHK★ ◆6・00 親子クイズ 田中明夫◆6・30 今晩はメイコです◆7・15 コステラネッツ指揮N響特別演奏会『ポギーとベス』（ガーシユイン）他◆8・30 民謡お国めぐりー埼玉県◆9・15 NHK週間ニュース

★NTV★ ◆6・00 劇『こども探偵局』◆6・15 趣味の手品教室◆6・30 素人のど競べ 水の江滝子◆7・30 なんでもやりまシヨウ◆8・00 尾上菊五郎劇団若手歌舞伎❶戻駕❷三人吉三◆9・20 ホームトピツクス

★KR★ ◆6・00 映画❶奈良の大仏❷余暇を生かして◆6・35 サザエさん 高杉妙子 他◆7・00 プロボクシング『大川ー笹崎』『大越ー保田』他◆9・10 探偵劇『日真名氏』◆9・45『ハバロフスク収容所を訪ねて』野溝勝他

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
8・05 音楽の泉 堀内敬三	7・15 科学ゼミナール	8・40 週間録音ニュース	8・25 みんなのメロデイ	8・30 夢声・笠置シズ子対談
9・15 落語家修業 金馬夫妻	9・00 私の古典 医博永井潜	9・10 ちえのわクラブ	9・30 朝のコーラス 蛍の光	9・00 コント 結婚あれこれ
10・15 子供のお話 加藤玉枝	10・00 囲碁将棋の時間	10・30 ベートーベンの交響曲	10・45 ビクターヤング楽団他	10・30 歌 三橋美智也他
10・30 声くらべ子供音楽会	11・25 謡曲弱法師粟谷益二郎	11・05 歌・フランク永江他	11・00 陽気な一家 関弘子他	11・00 お母さん教室（ゲーム）
11・25 親らん 宝井馬琴	12・00 六大学野球リーグ戦実況ー明大対立大	12・10 素人うた合戦（大塚）	12・00 日曜寄席 三笑亭夢楽	12・00 職場対抗のど自慢
12・15 のど自慢素人演芸会		1・35 漫才 ヒツト・マスミ	1・00 歌の玉手箱 今村アナ	1・00 電報クイズ ルイカー

都々逸名選　小沢扇太郎選

娶の奥といえば綺麗に聞えるけれど世間を憚かる二階借り　向島・君福

馬鹿か利口かぶらりと一つ棚から下がっているへちま　長岡・鈴木六可仙

姐さんにみつ豆奢って覗く晩はきっとのろけが出る怖さ　神楽坂・藤村家花鶴

秋のさびさしみじみ想うどこか弱さのあるあたし　大田・大塚高久

このまま死んでもいい幸わせな夜が来ている逢っている　浅草・岩崎節子

◇

好きというだけそれから先はあたしが大人になってから
選者

新宿キャバレー さくらめ★と★ん

京マチ子の帰朝第一回出演『新平家ー』の巴御前

京マチ子の帰朝第一作は、大映が正月三週公開を予定している『新・平家物語第二部・木曽義仲の巻』と決定。監督は衣笠貞之助、主役木曽義仲には長谷川一夫が決定しているが、京は巴御前の役を振り当てられている。

消息 ブラジルに滞地中の邦正美は一日からサンパウロ市にある自由音楽学校の講師に就任、創作舞踊の理論及び実地指導を行っている。なお自由音楽学校はブラジル最高の音楽舞踊の教育機関で、校長は先年日本を訪問したことのある十二音主義の前衛作曲家ケルロイター氏である。

はと笛

▽…東宝『乱菊物語』に出演している池部良はつい先日の『旅情』で足を怪我して以来、撮影所のなかで愛用のジープを乗り回している。

▽…その乱菊ーのセットはいま第九ステージに組まれていて谷口千吉監督以下八千草薫、北川町子など総出演の群衆シーンなのだが昼休みなどはエキストラ百数十人が所内をウロウロ歩き回っている。これを縫って彼のジープがステージから俳優部屋までブーと飛ばすといった案配だ。ところがこう人が多くてはせっかくの車もヨタヨタするばかり。シレッタがった池部『こん後、所内にもシグナルをつけてくれよ』とは無理な話。

【写真は池部良】